

様式 2

令和 3 年度 福島大学基金研究推進事業助成による成果報告書

2021 年 6 月 9 日

学 長 殿

所属部局・職名 人間発達文化学類・教授

申 請 者 名 佐藤 佐敏

学会参加者名 生井 さやか

参加学会名	全国大学国語教育学会 第 140 回春季大会 (於: オンライン)
実施期間	2021 年 5 月 29 日 ~ 5 月 30 日
成果の概要	<p>5 月 30 日の自由研究発表において、「教科書教材に登場する〈アイテム〉の考察—文学的文章を読む方略の獲得に向けて—」という題目で発表を行った。研究の概要は次の通りである。</p> <p>国語科では、授業の中でどのような力が身についたのか曖昧になることが多い。国語科の授業において深い学びを成立させるために〈読みの方略〉を子どもに習得させるために筆者は、物語に登場する〈アイテム〉に着目するという〈読みの方略〉に焦点を当てた。この〈読みの方略〉習得させるためにまず、小学校及び中学校の国語教科書において用いられている文学的文章には、どのような〈アイテム〉が登場するのかを整理した。その後、喪失と回復という物語典型に〈アイテム〉が重要なかわりをもっていることを確認した。そして物語において〈アイテム〉が「なくなる」ことでどのような機能を果たすのかという観点から〈アイテム〉を分類し、〈アイテム〉から見出せる意味について物語論や心理学の知見をもとに論考した。</p> <p>全国の参加者に自身の研究を発表するとともに、質疑応答を経て、貴重なご意見やご指導を頂くことができた。</p>